

09

森林のはたらきを学ぼう ～木を身近に感じることを通して～

ときだ
多気町立外城田小学校



Myキーホルダー・森のせんせいと一緒に



はじめてのノコギリ



プロの手腕に驚き



ヒノキの円盤を見せ木の特徴を説明

ねらい

- ・自分たちが使用している水道水の水源は森林であることを知るとともに、森林には水を蓄えたり、水をきれいにしたりする働きがあることを知る
- ・木工の体験を通じて、ノコギリやヤスリを使って、身近な木材を加工して利用することができることを学ぶ

取組内容

わたしたちの暮らしは、空気・水を通して森林とつながっていることを教わりました。具体的な林業の話から、森林や樹木を育てていくことは60～80年もかかることを学ぶことができました。また、林業は緑を循環させていく持続可能な産業であることについても学ぶことができました。

さらに、スギやヒノキの他、カキやミカンなど身近にある木材を使って木工を体験しました。樹木の違いの説明を受け、身近な、樹木にもいろいろな種類があり、重さなど特徴があることを学びました。多くの種類の木材にふれ、それぞれの香りや木目の違い・美しさに子どもたちは興味津々でした。その中から自分の気に入った材を選び、キーホルダーに加工しました。木工では、ノコギリのひき方やヤスリのかけ方などの指導があり、木材という資源を身近に感じることができました。

【先生のコメント】 樹種ごとの違いを五感で感じつつ、自分の作品を作ることを通じて、学習したことを深めていくことができました。

内 容	・森林の働きの話 ・木工体験
時 間	3 時間 (社会科 1 時間、図工 2 時間)
場 所	4 年生教室、図工室
対 象	4 年生 9 人
講 師	森のせんせい：細渕芳弘氏
備 考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業